

お元気ですか

つかじさちの

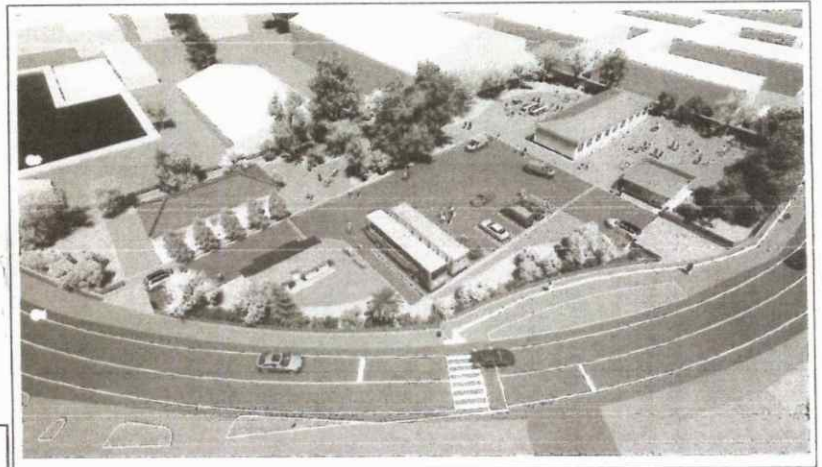
メール便

第1064号



日本共産党高知県議会活動報告コース
2023年 7月 / 2日発行
電話 088-823-9524 (議会控室)
088-843-9281 (自宅)

旧陸軍歩兵第44連隊跡地の整備活用計画策定に800万円計上 跡地内に残っている弾薬庫と講堂は国登録有形文化財に



整備イメージパース図

- ※跡地に残る文化財としての価値を有する建造物
- 【弾薬庫】
 - ・推定建築時期：明治30年頃から大正12年までの間
 - ・面積：161.98㎡ (桁行17.490m、梁間8.825m)
 - ・構造：レンガ組積造平屋寄棟造椽瓦葺平入り
 - 【講堂】
 - ・推定建築時期：明治30年代前半
 - ・面積：247.93㎡ (桁行27.360m、梁間9.200m)
 - ・基礎：レンガ組積造
 - ・構造：上部木造平屋寄棟造鉄板瓦葺平入り

市民団体のみなさん
が粘り強く取り組んでこられた44連隊跡地の保存と活用計画が具体的な動きを始め、来年度予算に計画策定費800万円が採算にまいりました。

この度、弾薬庫と講堂が国登録有形文化財に登録され、文化庁の要請もあり県だけでなく国の補助も活用して整備をすすめることになりました。

なるがも日記

No.1062

初の整備スケジュールから約3年間開館が先延ばしになり、20年の開館予定です。現時点での総額は約9億円、うち約1億円の補助に、将来に備えて行く事でも、戦争の悲傷を伝える大事な施設も残せて良かった。

2018年の2月県議会で賛同に立ち、当時の県議知事 田村教育長に、朝倉にある44連隊跡地の5,500㎡の中に残っている弾薬庫、講堂を保存活用し、県内の戦争資料を集約する施設にするよう質問を行いました。その後、所有管理をしていた財務省の担当課長にも民間への売却を急がないよう要請に行きました(右の写真)県民のみならず、みなさんの声をかけ、2019年2月、県が取得を表明したのです。

(参議院議員会館にて)

